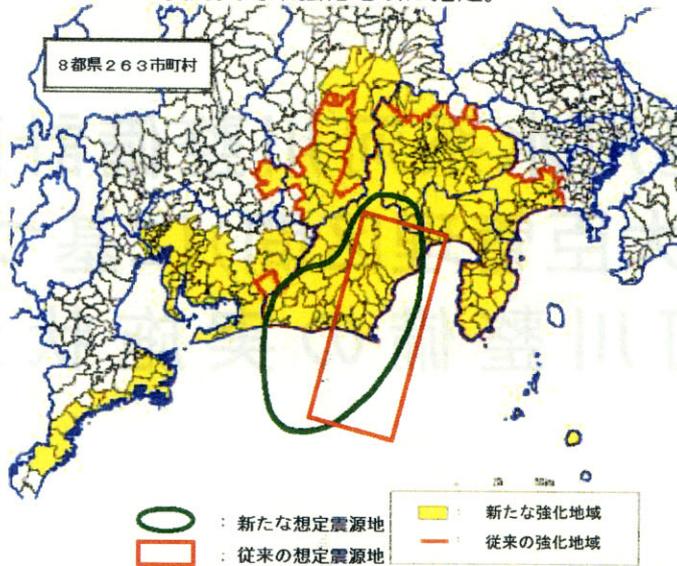


豊川水系河川整備計画 (大臣管理区間)に基づく 河川整備の実施状況

平成14年11月12日

国土交通省中部地方整備局
豊橋工事事務所
設楽ダム調査事務所

東海地震については、平成14年4月24日に大規模地震対策特別措置法（昭和53年制定）に基づき、8都県263市町村を地震防災対策強化地域に指定。



平成14年の濁水状況



昔の橋台、橋脚が現れた宇連ダム
平成14年9月13日(水)



蒲郡老人福祉センター「寿楽荘」
平成14年9月26日(木)



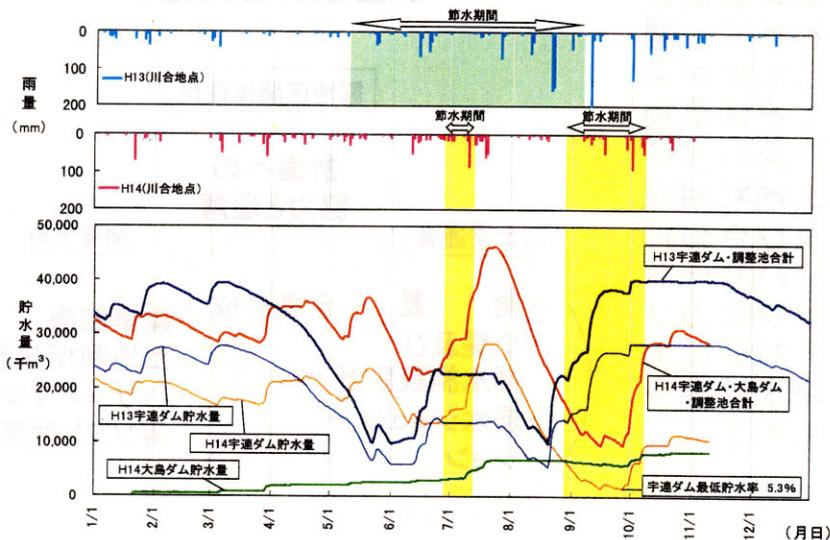
中日新聞 平成14年9月19日(木)



東愛知新聞 平成14年9月25日(水)

平成14年の渇水

節水対策は6月28日～7月12日（14日間）、8月29日～10月8日（40日間）の延べ54日間実施。節水率は最大で上水25%、工水40%、農水40% 宇連ダムの最低貯水率は5.3%。



河川整備計画施工箇所位置図

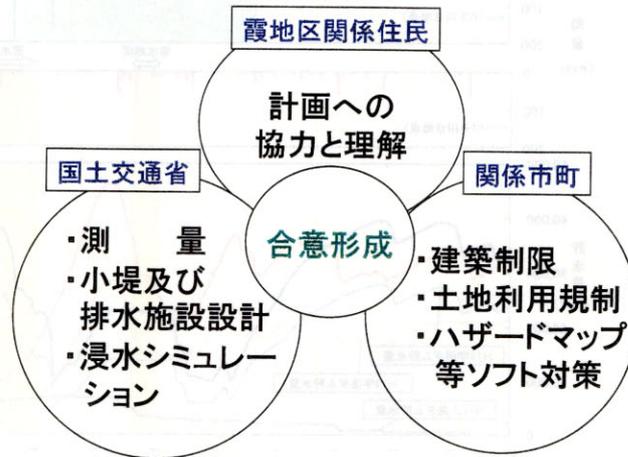
河川工事



霞堤対策（下条、賀茂、金沢）

小堤の設置とあわせて、関係自治体を実施する建築物の建築制限等の土地利用規制及びきめ細かいハザードマップ等のソフト対策により浸水被害を軽減する。

測量設計を実施中。



霞堤対策（牛川）

下流からの河川改修の進展により、他の地区への水位上昇などの影響がなくなったことから、土地利用計画等と調整の上、継続して築堤により無堤部を解消する。

堤防を上流から600m延伸。

残りの部分は、土地利用計画等と調整を図りながら整備。

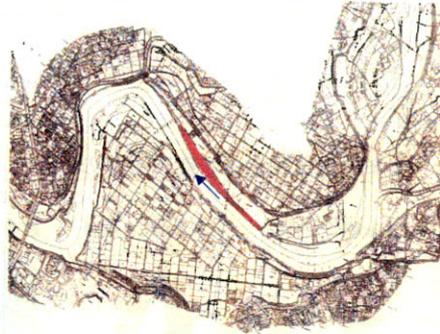
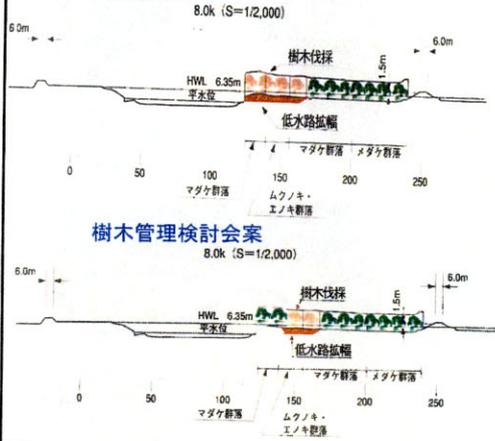


河道改修及び河川環境の整備と保全

樹木管理検討会を開催し、学識経験者等のご意見をもとに段階的に河道改修を実施。

整備計画

豊橋市大村地区 施工箇所

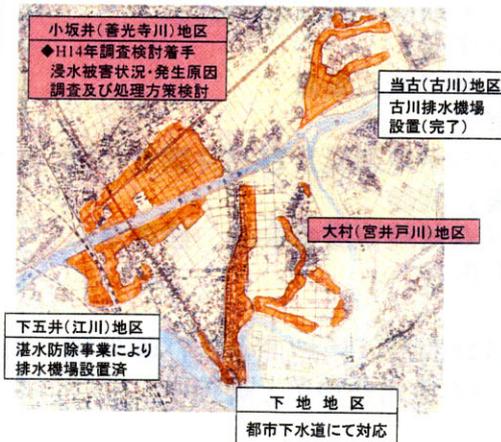


内水対策

新たに内水対策の必要な地区について浸水原因及び処理方策の調査・検討を行う。

小坂井地区の内水浸水発生原因及び処理方策調査・検討に着手。

昭和57年8月洪水における内水浸水区域



昭和57年8月洪水における小坂井排水機場付近の浸水状況



平成12年9月における東海豪雨時に活躍するポンプ車(庄内川水系新川)

豊川流況総合改善事業

河川工事

本年度で、河川情報と利水情報の伝達に必要なシステムの整備を行い、平成14年度をもって豊川流況総合改善事業を完成。



大野頭首工下流の改善効果



流況改善前

今年の渇水における流況改善の効果は45日間

1/1~10/8 の281日間

流況改善しない場合



流況改善した結果



設楽ダム完成後



流況改善後[1.3m³/s]

設楽ダムの建設

河川工事

この一年の経緯

- 平成13年11月28日 「豊川水系河川整備計画」策定
- 平成14年 3月27日 「変更細目協定」締結
(設楽町長、設楽ダム調査事務所長)
- 平成14年 6月20日 設楽ダム早期解決の意見書採択
(設楽町議会)
- 平成14年 8月28日 平成15年度概算要求
(建設移行)
- 平成14年 9月19日 「設楽ダム用地測量及び物件調査に関する覚書」締結
(設楽ダム対策協議会会長、設楽ダム調査事務所長)

- 現在、具体的な「用地測量及び物件調査」について地元各地区と調整中

設楽ダム環境調査

河川工事

設楽ダム環境調査は、昭和51年度から準備調査に着手し、平成5年度より事業予定地及びその周辺において本格的な現地調査を実施。

			現地調査											
			H4以前	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
水質			○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			準備調査*	現地調査										
			H4以前	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	
大気環境									○	○	○	○		
植物	陸上植物		○	○	○	○			○	○	○	○	○	
	水生植物	大型植物 付着藻類	○	○								○	○	
動物	ほ乳類			○		○			○	○	○	○	○	
	鳥類	内ワシタカ類	○	○					○	○	○	○	○	
		両生類・は虫類	○	○					○				○	
		魚類	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
			内ネコギギ	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	
		陸上昆虫	○	○	○	○			○	○	○	○	○	
		底生動物	○	○					○				○	
生態系	陸産貝類		○						○	○			○	
	上位性								○	○				
	典型性	典型移動							○	○		○	○	

*:「準備調査」とは、既往文献及び簡易な現地調査による調査。

ネコギギ、クマタカ調査

河川工事

(ネコギギ)

分布情報を補足するための調査を実施。

保全計画立案のための基礎資料とするために、生息環境の把握を目的とした調査を実施。

(クマタカ)

事業予定地周辺で営巣が確認されている3ペアを対象とした行動圏の調査を、継続実施。



豊川に生息するネコギギ



設楽町に生息するクマタカ

設楽ダムの地質調査等

河川工事

ダム軸と想定される箇所でのボーリング調査を実施しており、概ね良好であることを把握。
付替道路、土捨場、仮設備計画等の検討を実施中。



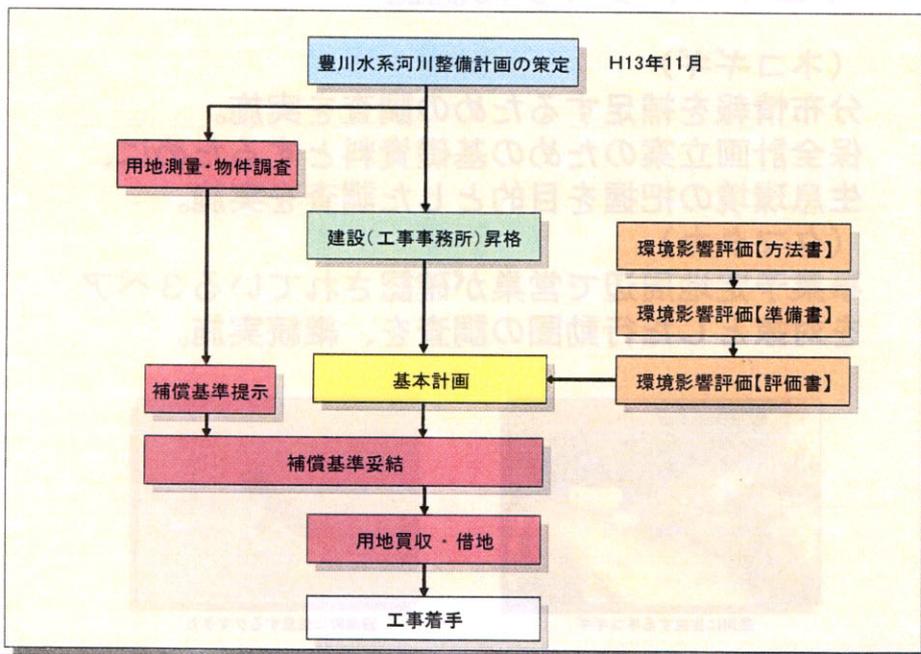
ダムサイト左岸河床部
ボーリング作業状況
E L 332m
掘削深130m



ダムサイト右岸斜面ボーリング作業状況
E L 443m
掘削深130m

設楽ダムの今後の流れ

河川工事

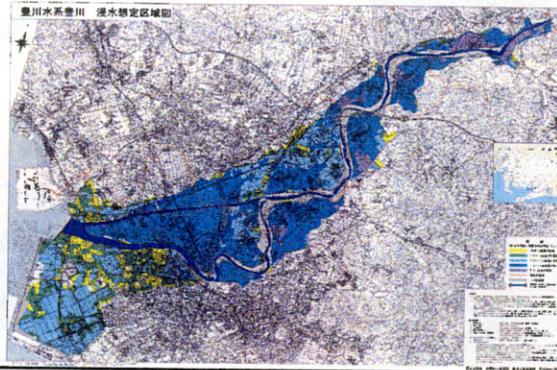


危機管理体制

河川維持

被害軽減を図るためハザードマップ作成支援などのほか、関係機関や地域住民間の情報伝達体制の充実を図る。

平成14年2月27日に豊川の浸水想定区域図を公表。沿川市町のハザードマップ作成を支援。洪水対応訓練を出水期前に実施。



不法投棄対策

河川の維持



平成13年4月の家電リサイクル法の施行をうけ、日々の巡視に加え夜間、休日にも巡視を強化。

処理件数は、平成13年度で25件。



投棄者の手がかりを捜す
巡視員

豊川右岸15.6k付近(豊川市三上)

水質事故対策

河川の維持



豊川放水路平井船溜内でオイルマット回収

平成13年度4件、平成14年度、現在までに6件発生。

平成14年2月に、豊川と矢作川の水質汚濁対策連絡協議会が合同で幹事会・緊急対策部会を開催し、連絡体制の強化を図った。

迅速な連絡に向け「緊急連絡手帳」を作成。



オイルフェンス設置訓練



幹事会・緊急対策部会の開催

河川情報システムの整備

河川維持

目的及び用途

河川の水位、雨量等の基礎データや画像情報は洪水等による被害軽減に重要

- ①水位、雨量等の基礎データの収集と提供
- ②CCTVカメラによる画像情報の収集と提供
- ③大規模地震における被災情報の迅速な収集
- ④防災情報の共有化（自治体、沿川住民）

豊川の整備状況

光ケーブル敷設区間：

豊川河口～寒狭川頭首工、大野頭首工

CCTVカメラ：26台

（施設監視、出水状況等）

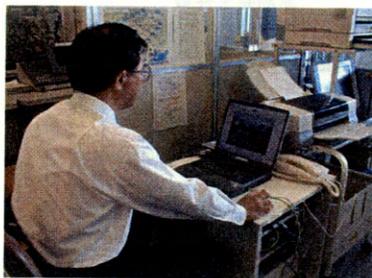
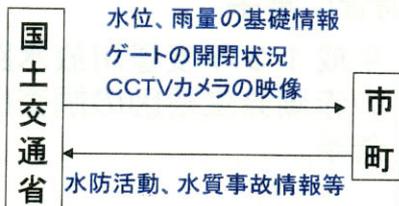
3自治体接続済（豊橋市、一宮町、鳳来町）

今年度末：新城市、豊川市、小坂井町に接続予定

豊川水系光ファイバーネットワーク



自治体との情報交換



豊橋市役所(消防防災課)に配置した端末



防災情報システムによる提供画面・データ等

調査研究等の推進

従来からの諸調査を継続し、流域内気象、河川流況、河川環境等の現況把握に努める。

引き続き、従来からの水文観測、水質調査、河川水辺の国勢調査等の諸調査を継続。

必要に応じ内分泌攪乱化学物質(環境ホルモン)、糞便性大腸菌等の調査を実施する。

内分泌攪乱化学物質、糞便性大腸菌、ダイキソ等の調査を実施。

上流域の森林から三河湾に至る流域における河川水・地下水等の水循環や土砂流出について調査研究等を行う。

調査研究等の推進

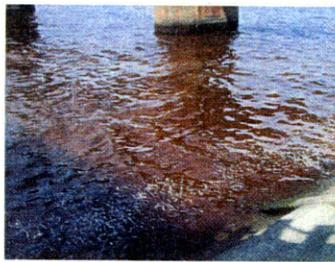
その他の事項

赤潮発生機構調査に着手

平成14年に入ってから、豊川で3件、豊川放水路で2件の赤潮が発生。

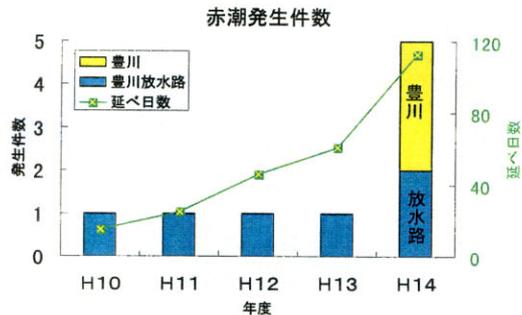
採水調査を実施し、水質分析。

(植物プランクトン検出)



H14.8.1 豊川橋梁(JR東海道本線)右岸の赤潮発生状況

平成13年度豊川放水路の赤潮発生要因の調査に着手。



河川情報の公開・提供の促進

その他の事項

豊川について広く情報提供し、情報の共有化、意見交換の場づくりを図るなど双方向コミュニケーションを推進する。

KAWAKKO資料館での情報提供と質問回答。
アクアフェスタ等イベントでの広報とアンケート。
ホームページでの情報提供と意見収集。



KAWAKKO資料館
来場者数：約2,600名
(H14. 4. 1～H14. 10. 31)



アクアフェスタ
開催場所：豊橋市上下水道局
来場者数：約3,500人
(H14年7月28日)



豊橋工事事務所ホームページ
アクセス数：約27,000
(H14年10月31日現在)

河川の協働管理

その他の事項



河川愛護・三河湾浄化を目指して「川と海のクリーン大作戦」を実施。

10月27日（日）を中心に豊川7箇所、矢作川33箇所、海岸1箇所。

延べ7,500人が参加。106m³ & 3.6tを回収。



豊川(豊橋市今橋)



豊川放水路(豊川市行明)

堤防除草で発生する刈草の有効利用

その他の事項



刈草をロール状に梱包

近隣の農家に呼びかけ畑等の敷きワラとして活用。

約10%（60 t）農家で利用。

利用の拡大を図るため沿川自治体、農協に対しアンケート調査を実施。



刈草の積み込み

このような取り組みを通じて将来的には、地域住民との河川の協働管理を目指す。

河道内の竹林の竹も有効利用を目指す。

豊川流域圏一体化への取り組み

流域圏一体化

①森林保全

- 森林の現状について整理。
- 豪雨により流出した流木調査の実施。

②三河湾浄化

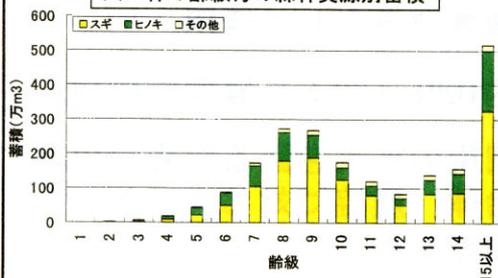
- 三河湾流入河川の水質改善や水質浄化対策が一体的に図られるよう、豊川・矢作川水質汚濁対策連絡協議会を一本化。
- 三河湾の現状について整理。
- 三河湾環境改善シンポジウムの開催。

③関係機関・地域住民との連携

- 流域圏一体化に向けて、豊川流域圏内外の関係者に現状と課題を聞き取り中。
- 流域圏の方々、約5,700人に流域圏に関する住民意識調査を実施。
- 「川と緑の交流コンサート」を開催。
- 「とよがわ流域圏こども会議」等を開催。

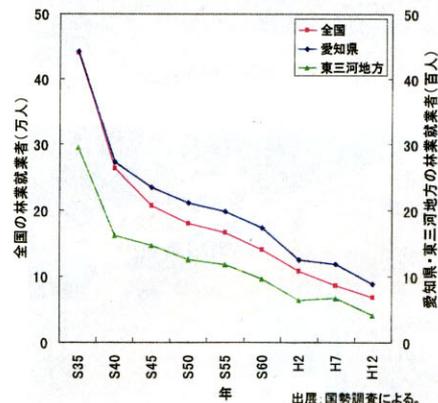
東三河地方における森林の現状

人工林の齢級毎の森林資源別蓄積

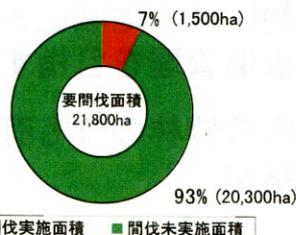


設 楽: 設楽町、東栄町、豊根町、富山村、津具村、福武町
 新 城: 新城市、黒来町、作手村
 東三河: 豊橋市、豊川市、岡野市、豊明町、一宮町、小坂井町
 新 津 市: 新津市、赤羽根町、淵美町
 東三河地方: 上記の地域を併し、一部、矢作川流域を含む。
 出展: 「緑の国森づくりの会」提供資料による。
 (H11年度 愛知県林業統計書(H12.12))

林業就業者数



人工林の要間伐面積に対する間伐実施面積



流木調査



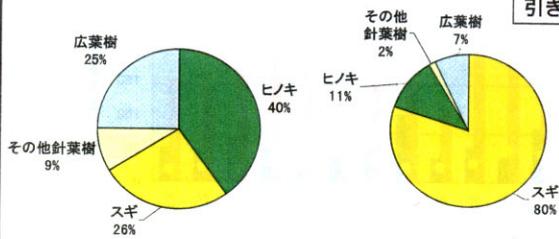
上村川沿川の沢ぬけ(上矢作町)



矢作ダム湖を覆う流木(串原町大野)



引き上げられた流木(串原村閑羅瀬)



矢作ダム集水域の樹種構成

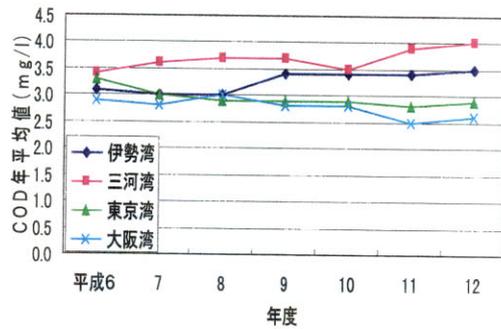
流木の樹種構成



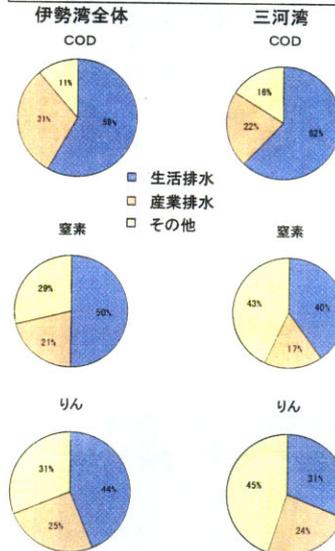
豪雨の深いつめ痕(上矢作町達原)

三河湾の水質の現状

三河湾の水質の経年変化(COD年平均値)



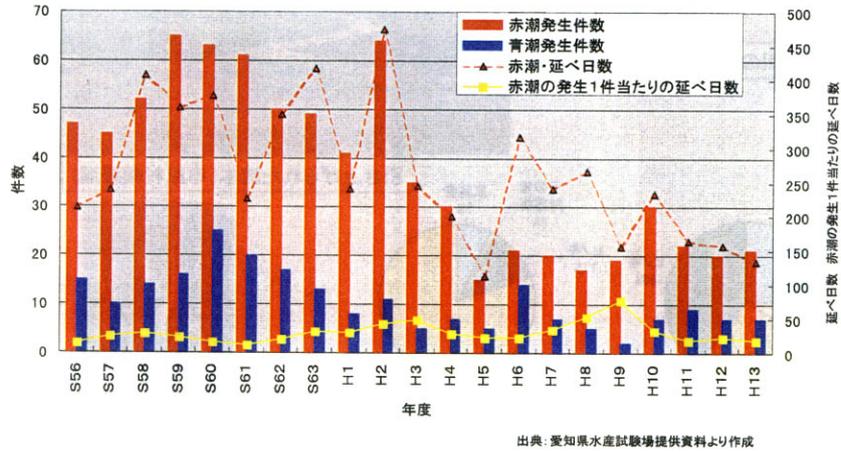
陸域からの汚濁負荷割合(平成11年度)



出典: 愛知県水環境課提供資料より

三河湾の水質の状況

三河湾における赤潮・青潮の発生状況



とよがわ流域市民祭

(H14. 5. 12)



の超ロング
1537
メートル
ギネス
新記録
豊橋



豊橋工事事務所ブースに800名以上が来場

ミュージカル・リバーヘッド

(H14. 7. 23~24)



2日間で約2,100名が来場

川と緑の交流コンサート

(H14. 11. 10)



700名余の観客が、一体となって里の秋を合唱

とよがわ流域圏子ども会議

(H14. 11. 17予定)

とよがわ流域圏子ども会議

とよがわ流域圏をよりよくなるために、とよがわの子どもたちが、とよがわの自然と文化を体験し、学びあう機会を創出します。とよがわの自然と文化を体験し、学びあう機会を創出します。

開催日時
11月17日(日)
午前10:00～11:30

開催場所
鳳城町役場(防災センター)

一斉受付場
KAWAKKO資料館

お問い合わせ先
KAWAKKO資料館



7小学校、70名が参加予定